

発表者: 谷村勇輔

WG/RG名	SAGA (Simple API for Grid Apps) -WG
目的	グリッドアプリケーション(特に, 科学アプリケーション)を開発するための高位のAPI, Simple かつ Consistent なものを定義するために, API の Look-and-feel や scope extension に焦点を当てて議論を行う. Simple/Controllable は80/20 のルールを採用する.
所感	<p>6/2 の WG/RG 合同セッションはキャンセルとなり, OGF23 はこの1回のみ行われた. セッションの参加人数は15名前後であった. WG のメインの Chair である Andre が来られなかったので(たぶんこれが1番大きな理由と思われるが), 実質的な進展はなかった. Core API スペックが Proposed Recommendation になり, 今は Interoperability のための実装を個々に進めている段階であり, そういう意味でもあまり議論が必要なフェーズではなかったのだと思われる.</p> <p>セッションでは最初に SAGA の概要, 次に SAGA を実装しようとしている JSAGA の発表があり, 最後に実装の状況について短い時間, 議論を行った. JSAGA はフランスの CC-IN2P3 で開発されており, EGEE, OpenPlat, OpenScience Grid に対して統一的な API(SAGA API)を提供するミドルウェアを作ろうとしている. JSAGA のソフトウェア・アーキテクチャは他の SAGA の実装と似ており, 下位ミドルウェアに対する複数の Plugin Adaptor とそれをまとめるエンジンという構成である. このアダプタを複数持つという形が多くの中ミドルウェアで採用されつつあるためか, 議論の中で, エンドユーザに対する API よりもこうしたアダプタを制御するための API(CPI, SPI などと呼んでいた)をもっときちんと標準化していこうという話が盛り上がった.</p>

発表者: 谷村勇輔

WG/ RG名	GFS-WG
目的	グリッド上の仮想ファイルシステム(グリッドファイルシステム)の実現を目指し, 1) ファイル・システム・ディレクトリ・サービス(VFDS)の標準仕様, 2) サービスの組合せによるグリッド・ファイルシステムのアーキテクチャの標準仕様を作成する。
所感	RNS の概要について説明があり, その後, グリッドのファイルシステムのメタ情報の仕様の提案, iRODS のファイル・メタ情報の紹介, Genesis II での RNS の実装に対する取組み(RSN の問題点の指摘を含む), 物理系やバイオ系のデータに対するメタデータを RNS で表現する仕組みの必要性について発表が行われた. これらはいずれも RNS の Profile (File System 用, 物理・Bio 系などのアプリケーション用)を作るため, 基本的な情報を皆で共有するためのものだったと思われる. 今後, ファイルシステム同士, 個々のアプリケーション同士で RNS を用いたメタ情報の標準化について議論を進めていくものと思われる. どれくらいの期間を見込んで作業を進めていくのかはよく分からなかった. 15人くらいが参加していた.

発表者: 谷村勇輔

WG/RG名	GridRPC-WG
目的	Grid上のRPC(remote procedure call) の標準APIを策定する.
所感	<p>DIET グループから Data Management API の仕様について説明があった. 今回説明された仕様は前回の OGF の議論で問題点として指摘された部分を修正したものであり, 仕様の細かい箇所について議論した. そして, この議論にほぼセッションの持ち時間を使い果たした. 今回修正された点は1週間以内に修正し, ML での議論を経て, Informational Document として AD に提出することに決定した. OGF24 以降, Data Management API と Recommendation になっている End-user API をマージして, GridRPC API v2 を作ろうということで大まかに合意した. 参加人数は DIET グループから5名, Ninf グループから2名, その他に3名 (Graig, Thilo, もう1人) だった.</p>